

育成 モノづくり人材

Vol. 34

東京都立科学技術高校

東京都立科学技術高校は2001年に新タイプの「進学型専門工業系高校」として誕生した。毎年就職するのは卒業生約210人中10人以下。ほとんどは理系大学に進学する。と赤石定治校長。設置



赤石校長

「毎年就職するのは卒業生約210人中10人以下。ほとんどは理系大学に進学する」と赤石定治校長。設置学科は科学技術科のみで、2年時から材料・

【DATA】▷校長=赤石定治氏▷所在地=東京都江東区▷学科構成=科学技術科▷総定員=638人▷主な設備=レーザー加工機、原子吸光分光光度計、蛍光X線分析装置、走査型電子顕微鏡など▷主な進路=首都大東京、琉球大、東京理科大、芝浦工業大、東京電機大、千葉工業大、日本大、東邦精機、日本郵便、江戸川区役所など

型オンラインゲームの制作を進めていた。発表内容はどれも非常に高度なものだが、彼らは高校生とは思えない

研究者養成の「進学型」校

流体・熱力学系、電子・情報工学系、化学・バイオ系の3分野に分かれて学習する。毎年夏休み直前に、3年生による課題研究発表会を開催する。316人のグループで研究テーマを決め、2年

か、新たな研究テーマを決める。ただ「期間が1年弱では結果へ到達しづらい」と判断、2016年からは2年生の希望調査を早め、担当教諭へ申し出れば夏休み中に研究に取りかかれる体制を整え

ないほど分かりやすく伝える。その秘訣について赤石校長は「1年生から全員にプレゼンテーションを特訓させる」と話す。同校は文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール」(S

SH)の指定を受け、毎年秋に1年生全員が科学体験研修を受け「ものづくり」「ロボット」「地球環境」などに分かれ、担当教員からプレゼンの仕方



課題研究の発表に聞き入る生徒ら

「課題研究一つとっても、自分たちでテーマを見つけ、仮説を立て実験し、成果を発表する。一連の体験から進路について自ら考え、行動できる人になってもらいたい」と赤石校長は期待する。

(高橋沙世子)
(金曜日に掲載)